



おしるこカフェのつくり方



本研究は JSPS 科研費 23531153 の助成を受けたものです。
研究代表：村上タカシ（国立大学法人宮城教育大学）



2015年3月11日発行

「おしるこカフェのつくり方」制作委員会

宮城県仙台市青葉区中央2-10-1第二勝山ビル6F

070-6970-1976 mmix@mac.com



2011年12月17日、初めてあすと長町仮設住宅を訪問

2012年1月、仙台・あすと長町仮設住宅で始まった「おしるこカフェ」。

これは、もともと「企画」とか「プロジェクト」なんて呼べるものではなく、2011年のクリスマスに行われた「アート・インクルージョン・クリスマスプロジェクト2011」を観察に伺ったときに、**なんとなく思いつきを口にしたこと**から始まったことなんです。

こんな会話を、仙台在住のアーティスト・門脇篤さんとしたように思います↓

始まりは思いつきを口にしたこと

おしるこカフェを
始めるにあたって思ったこと

- ・仮設住宅の皆さんに、何か役立つことはできないか。
- ・自分たちのやりたいこととかはちょっと置いておいて、手弁当でやってみたい。
- ・震災や津波で被災された方々の力になりたいけれど、喪が明けていない方もいらっしゃるから、「お正月」っぽいのはダメだね。



言い出した翌月には実施

というわけで、地味にかつ和やかに、みんなで楽しめる場として、「おしるこカフェ」（仮）を始めることになりました。

年末に言い出して、いきなり1月12日に開始。このスピード感も、なかなか気に入っています。

（次ページへつづく）



おしるこカフェは永遠です！

おしるこカフェのつくり方



「おしるこカフェ」の設計で配慮した事柄

- 一 美味しく、なおかつ健康に良いものを提供する。
- 二 子どもからお年寄りまでに親しみ深いメニューにする。
- 三 米どころ宮城という土地柄、お餅をフィチャーする。
- 四 インスタント食品やレトルトは使わない。
- 五 いわゆる「慰問イベント」とは一線を画し、できるだけ「隙間」の多い場にする。
- 六 参加する人をできるだけ「受身」にしない。

（前ページからのつづき）
「おしるこカフェ」の設計について
配慮したのは、上の事柄です↑



仮設住宅で暮らしている方々の食生活を考えると、**食物繊維が足りないのでは？** という点が気になります。よって、提供するメニューは「おしるこ」。若い人の間ではアンコが嫌いな人もいるので、**メニューについては、来場者の反応を見て修正することも考えました。**

「お餅」は、仮設住宅の皆さまに、分かりやすく**元気になってもらいたいというメッセージ**を含んでいるわけですが、これは狙いは当たったようです。今日の「おしるこカフェ」でも、「**東北の間は、餅が好きなんだよ**」と、たくさんのお話を伺いました。

アズキからおしるこを作るなんて、生まれて初めて挑戦しましたが、これも好評でした。「**うちの祖母ちゃんが作ったのとおなじ味だよ**」と言っていたいた時には、胸が熱くなりました。

「庶民」が「庶民」で支え合う

震災から4年目を迎え、被災地を取り巻く情勢も、変わりました。

全国各地で、超高齢化が進む地域で、「**コモンミール**」「**会食会**」など、「おしるこカフェ」の仲間とも呼べる取り組みが同時多発的に生まれ始めました。**みんなで作る／みんなで食べる／ワイワイとおしゃべりを楽しむ。そんなお茶の間のような場の再生が、各地で進んでいます。**

仮設住宅からは、復興住宅への引っ越しが始まりましたが、阪神淡路大震災では、復興住宅に移ってから、孤独死などの問題が続いたそうです。

「おしるこカフェ」は、復興住宅に場を移し、必要とてくださる方々がいる限り、続きます。また、全国で「**庶民が庶民で支えあう**」取り組みが続いている人々と連携し、社会の変化、天災にも、しなやかに向かっています。

先日、仮設住宅の住民のばっちゃんから「**下山さん、いつまで来てくれるの？**」と聞かれたので、反発的に「**永遠に来ますよ！**」と答えてしまいました。

そう、「**おしるこカフェは、永遠です！**」

下山 浩一

コミュニティアート・ふなばし理事長

奪われた日常を取り戻すばっちゃんたち

おしるこカフェは、お餅を中心に、いくつかのバージョンが生まれました。

名取市で安全な農産物を生産していらっしやる三浦隆弘さんをゲスト講師にお招きしての「**ずんだワークシヨップ**」。

石巻名産の「**焼きハゼ**」で出汁を取った、本格的な「**仙台雑煮ワークシヨップ**」。

「おしるこもいいけど、俺ア芋煮食べたい」とリクエストされて行った「**芋煮スペシャル**」。

どの回も、我々仕掛け人オヤジは、「あつち行つてな！」と蚊帳の外に置かれ、仮設住宅の住民のばっちゃんたちが大張り切りで、それはそれは凄い働きぶりを見せてくれました。我々支援側は、台所をすっかり奪われてしまいました。

否！そうです、お盆の風物詩の「ずんだ」、お正月の「お雑煮」、秋の「芋煮」。彼女らは、**ご馳走をみんなで作ってワイワイ楽しむ日常の風景を「取り戻した」**のです。奪われたコミュニティの場の回復を目的にしたプロジェクト「おしるこカフェ」は、我々が弾き出された瞬間に、一つの到達点を迎えました。

地域の食文化と参加者の豊かな経験
参加意識からさまざまなバージョンが生まれる

ずんだワークシヨップ
仙台雑煮ワークシヨップ
芋煮スペシャル

ご馳走をみんなで作ってワイワイ楽しむ
日常の風景を「取り戻した」
＝奪われたコミュニティの場の回復



社会の変化や天災・事故

少子高齢化
過疎化
格差社会
震災
台風
放射能

おしるこカフェ

普通の人どうしが支え合う取り組み
それによって乗り越えていく



おしるこカフェは何もしない



門脇 篤
現代アーティスト、まちとアート研究所代表
理事、アート・インクルージョン理事

「スカスカした場をつくりたい」と下山さんは静かに語った。

今となつては嘘のようだが、その頃仮設住宅の集会所には、自分たちの「何かしたい」という気持ちを晴らすかのように、さまざまな人や団体が詰めかけ、「仮設に住むかわいそうな被災者」を「慰問」するためのイベントが連日行われていた。そうした中で、おしるこを食べるだけで非常識なほどに何もしない「おしるこカフェ」は、仮設にお住まいの方にも「一体、何がしたいのか」と映ったことだろう。

毎月、開催の2〜3日前になると「おしるこ通信」を配る。当日、下山さんは千葉の自宅で丁寧に煮込んだ小豆を持ってやって来る。煮方は懇意の老舗乾物店から手ほどきを受けた。

我々が「受け入れられた」と感じたのは、もう半年もそんなことをつづけた後のことだ。「おしるこ通信」を配る私に「毎月、千葉から小豆煮て来てるんだって？」と何人もの人が話しかけてくるようになった。秋口には「宮城のお雑煮を教えてほしい」と朝市で買った野菜を持ち込み、翌年の夏には名取の農家三浦さんに分けていただいた豆で「ずんだ」づくりを教えてもらった。そして我々は、みなさんが仮設住宅に来る前に送っていた豊かな生活、地域に根づいた知恵や季節と結びついた文化の奥深さに驚かされることになる。

NPO法人コミュニティアート・ふなばしの理事長・下山さんとは10年近く前から各地でコミュニティアートと呼ばれる、アートを通していろいろな人と関わる取り組みを行ってきた。下山さんが常々語るのは、「ひとがやらないことをやろう」というものだ。それはいわゆるアートにおける「オリジナリティ」とはまったく質を異にするもので、「ひとがやりたがらないようなこと、ひとがつづけられず、やめてしまう

ようなことをやろう」というような意味合いのことだ。逆に言えば、「ひとがやり始めたらずやめてもいい」。

下山さんは震災と、その少し前のお父上の死を経験することで「がらつと変わった」という。いろいろな意味で我々の活動はひとに認められることを前提したり、必要としたりしている。活動するため、ひいては生きていくためには最低限度の収入が必要であるし、その活動を実現するためには、社会的な認知や理解も必要だ。「でも、もうそういうことはどうでもよかった」と下山さんは言う。それはつまり、あらゆるものから自由になったということだろう。

しかし私からすれば、下山さんは何ひとつ変わっていない。シャッター街の活性化のためや、かわいそうな障がい者やマイノリティのために何かをしようと思つたことなど、我々には一度もない。ただ自分たちが面白いからやるという、目的と手段とが常に不可分となつたあり方は、アートの世界ではある意味ごく当たり前のことで、我々はそれをずつつづけてきたし、今も何ひとつ変わることなくつづけている。

おしるこカフェは「何もしない」。それはかわいそうな被災者のためのシェルターでもないし、「あの日」以前にあつた美しい生活を懐かしむ場でもない。あのあまりに悲惨な体験を経ても失われなかったものの、それでもなお我々がお互いを支え合いたいと願ひ、どうすればそれがかなうかを、頭ではなく、ひとりひとりの実際の行動として築き上げていく実験的で創造的な場だ。

そして、そうした場が必要とされているのは何も震災による被災地ばかりではない。グローバル化や単純な功利主義によって生み出される格差や孤立に「被災」しつづけている場所、人たちにとってこそ、まさに必要な知恵となるのではないだろうか。

石巻の小学生とロキが描く！

人間生活

その9

▲「手紙」の続きが気になる方はこちらからご覧いただけます。

石巻専修大1年のラップ・コースと仙台の現代アーティスト門脇によるラップ・プロジェクト「いよいよ始動！」

Rep * Inclusion 00

仮設住宅からのおしるこカフェ

歌舞伎町でも開催

昨年一月から仙台市あすと長町仮設住宅で行われている「おしるこカフェ」は、段取りの悪い中年男二人組が、手作りの「おしるこ」を出して仮設のみなさんをもてなそうと四苦八苦しながら、毎回仮設のみなさんに助けられてはいると、まだ行われるばかりなんじゃないか？

歌舞伎町二丁目ホテル白川郷でも3月9日午後一時より特別開催いたします！

仮設住宅で毎日行われている「おしるこ」をぜひ堪能ください！

▲歌舞伎町での「おしるこ」について詳しくはこちらでご覧いただけます。

▲仮設住宅のみなさんから仙台通の作り方を教わった順を追って作ったコミュニティアート・ふなばし下山理事長による「仙台通を巡る旅」はこちらから。

石巻専修大1年のラップ・コースと仙台の現代アーティスト門脇によるラップ・プロジェクト「いよいよ始動！」

Rep * Inclusion 00



2014年3月、歌舞伎町「稲荷鬼王神社」での展示「仮設住宅からの手紙 2014」準備風景

おしるこカフェに導かれて

「モノのアート」と「コトのアート」

スケジュール TIME TABLE

■第一部 25:00-26:30
「モノのアート」と「コトのアート」
開催当時の参加アーティストらとIZUMIWAKU project「学校美術館構想」展から20年を振り返る
★村上タカシ（美術家・MMIX Lab代表）
★清水敏男（学習院女子大学教授・桜3.11プロジェクト実行委員代表）
★開発好明（美術家）

六本木アートナイト 2014
4/19 | 25:00-29:30
テレビ朝日多目的スペース
imu | TV Asahi umu
無料 | FREE

20世紀までの「モノのアート」に対する「コトのアート」（プロジェクト型のアート作品）をこれまでのアート活動を通して紹介。

今宵よみがえる、IZUMIWAKUプロジェクト「学校美術館構想」

■第二部 26:45-28:15
現在活動している各プロジェクトの紹介
・ 3.11 メモリアルプロジェクト
・ 桜3.11プロジェクト
・ おしるこカフェ（ライブステージあり）
★藤原純（建築家・桜3.11プロジェクト実行委員）
★静首ちか（演歌歌手・Aiファクトリー）
★バルコキノシタ（美術家）
★下山浩一（コミュニティアートふなばし代表）
★門脇篤（アーティスト・ラップ★インクルージョン↓）

六本木でもおしるこカフェ

今度のおしるこカフェは…
4月19日（土）
深夜25時から29時半まで！
いつもより遅めのスタート！※1
しかもおしるこはおあずけだよ!!※2

※1 ふだんの「おしるこカフェ」は午後1時～3時の開催です。
※2 申し込みがありません（関係者のみなさんには無断で来てはなりません）
※3 申し込みがありません（関係者のみなさんには無断で来てはなりません）

毎月、「おしるこ通信」に作品を寄稿してくれている「仮設の仙台四郎」ことバルコキノシタさんと「おしるこ」の連載が始まりました！

2012年8月25日、「おしるこカフェ」を、新宿歌舞伎町にある「ホテル白川郷」一階ラウンジで行った。世界同時多発イベント「フェスティバル FUKUSHIMA 2012」の参加企画として開催したもので、震災後のコミュニティについて考える展示やトークイベントとともに、仮設住宅でこの年の1月から始めた「おしるこカフェ」を東京でも体験できるというもの。歌舞伎町という場所がありながら、昔ながらの旅館のおもてなしが味わえる宿とあって、おしるこを介して忘れられない出会いがいくつもあった。

モヒカンに革ジャンという出で立ちの男たちにおしるこをふるまうと、それは札幌を拠点に各地で精力的なライブ活動を行うパンクグループ「SLUNG」のリーダーK.O氏とそのメンバーたちだった。氏は石巻や大船渡など沿岸の被災地3箇所にライブハウスを復活させる「東北ライブハウス大作戦」の発起人。東京での定宿が「ホテル白川郷」ということでこの出会いを得たわけだ。聞くとこの日のライブでも、持ってきてくれるファンには支援物資の持参を呼びかけているという。

一方、原発事故を真正面からとらえた高校生による演劇「今 伝えたいこと（仮）」で知られる相馬高校放送局の顧問・渡部義弘氏をゲストに迎えたトークイベントに、ふらりと訪れた年配の婦人は、聞くも長崎の出で、女学校時代に対岸に落とされる原爆の光を見たという。おしるこを囲みながら徐々に明らかになっていったその事実、今、放射能と向き合っている高校生たちの70年後の姿を見たようで、戦慄が走ったのを覚えている。

紙面の都合でご紹介できないが、このほかにも私たちが訪れる先々で、「おしるこカフェ」はいくつもの不思議な出会いを仲立ちしてくれた、おそらくはこの先も「おしるこカフェ」は我々を導き、さまざまなことを教えてくれるに違いない。



2014年4月、「六本木アートナイト 2014」でのトークでも「おしるこカフェ」は紹介され、人々の心を打った。



2012年8月、「ホテル白川郷」での「おしるこカフェ」

静音ちかさん（演歌歌手）

気仙沼市唐桑生まれ。本名穀田千賀子。

故郷をテーマにしたオリジナルの演歌を歌うほか、方言による民話語りや手話歌、手話舞踊を各地で行う。震災後は継続して気仙沼、南三陸、仙台の仮設住宅への慰問を行っている。



仮設住宅の笑顔

「あけましておめでとうございます」

「今年も宜しく願っています」

元気な声が仮設住宅の集会場に集まってくる。

仙台長町駅近くのこの仮設住宅で4年目の正月を迎えた被災者のおじいちゃんおばあちゃん達である。

今日は「おしるこカフェ」の日。月に一度、温かいおしるこを作って千葉からずーっと通って来てくれる方と一緒に地元につながる雑談を頻張る。ワイワイガヤガヤとキッチンにも賑やかな笑い声が聞こえてくる。笑顔で元気な声にホッと安堵する。この笑顔になるまで沢山の辛い日々を歩いて来たのだから。

私が東日本大震災の後、故郷気仙沼市唐桑町に帰ったのは4月に入ってからだった。被災前は二つの浜辺を持ち、浜の近くに沢山の家が建ち、海には養殖筏や船が行きかう穏やかな港町だった。その二つの海から大きな波が故郷を襲ったのだ。

何も無かった。男達が遠洋漁業で稼いで建てた「まぐろ御殿」と呼ばれた家々の柱一本残っていないかった。海の近くで暮らした方々は場所こそ違っても皆同じ。仮設住宅に暮らす方々の苦悩や悲しみは相像するに余りある。

「何もかも無くなってしまった。何かも無くしてしまっただ」と嘆く幼馴染に、「あるじゃない命が！あなたが生きているからゼロじゃなくて一からでしょ！また足して行こうよ」ふいに口をついた自身の言葉がそれからの自分を動かした。

その年の7月、炊き出しの手伝いに行った南三陸町で「仮設住宅に暮らす高齢者のコミュニケーションを手伝ってほしい、笑顔を戻してほしい」と言われた。

出来るの？ やらせてもらおうー！！ 看護師の友人と二人で手弁当、寝袋持参で通い始めた。それからずーと、南三陸町、気仙沼市、そして仙台市内の仮設住宅に通わせて頂いている。

初めて仙台市内のこの仮設住宅を訪れたのは震災の年

の夏から秋へ変わるころ。まだ入居者も少なく、集会所に集まって来る人も少なかった。歌を歌い、踊りを踊る。黙って見てくれるだけ。でも方言で民話を語り始めると少し笑みがこぼれ、同じなまりに少しづつ心を開いてくれた。遠く帰れぬ故郷を離れて暮らす人が居る。私のなまりに昔を思い出す人がいる。逝ってしまった人へ思いを馳せる人がいる。幼かったころ：若かったころ：結婚：子育て：苦勞の日々…。

「孫も生まれてさあこれからだったのよ…」

時間を辿りあの日にぶつかる。一言又一言話しているうちにすすり泣き、そして赤子のように泣き、しゃくりあげる。そばにいて背中をさするだけしか出来ない…しばらくして大きく肩で息を吸う。

「ねえなんか楽しい民話聞かせて」「一緒に歌おう」「うんであ なにかだっぺ」

涙の乾かぬ笑顔で聞いてくれた。一緒に歌ってくれた。あれから4年…忘れたわけではない。忘れられることなど無い。生きようと、生きていかなければと、必死にもがいて努力して今に辿り着いたのである。

今では皆がどの部屋の〇〇さんなのかわかっていないと心配して呼びに行く。「冗談も言い合う。まるでずーっと前から知り合いだったように。お互いが歩み寄って思いやつて支え合って笑顔の場を作った来たのである。

「ありがとう」と声をかけられるが、「いぢらこそ」と言いたい。

ここに通うことで気付いたことがある。教えられたのは私。支えられたのは私。通ってこれたのは皆さんが私を迎え入れてくれたから。だからここにいられる。

「今度はいつ来るの？ 風邪ひかないでね」やさしい言葉に送られて集会場を後にする。

復興住宅への引越しが始まった方々もいる。願うことは一つ。これからは心穏やかに、本当の笑顔で暮らせる日々になりますように。



みんながつくってるんだと思う。

藤沢匠子（たつこ）さんは、昭和3年生まれ。震災当時、仙台市長町で一人暮らしをしていた。

藤沢さんが育ったのは戦時中だ。女学校時代は学徒動員で、学校の月謝を払ってあめ工場で働かされたという。朝、工場へ向かう途中、飛行機から機銃掃射を受けたこともある。身を隠す場所もなく、弾丸を受けた石ころが飛んできた。18歳で終戦を迎える。

その後、結婚したのもつかの間、5年後、25歳の時にご主人を亡くし、残された娘さんとまだ生後4ヶ月の息子さんを女手ひとつで育てあげる。しかし娘さんは白血病を患い、息子さんは喉頭癌で10数年前から入院中という。

藤沢さんはそれを「そういう人生」と語る。「女って、強い。母親は強い。どんなことしても子供を助けようとする。ご飯食べさせようとする。そういうものなんだ」と。

震災の時は家にいた。家は全壊。部屋の角にいて助かったが、鍋も持って来れない状況の中、娘と43歳になる孫が住んでいた岩沼から迎えに来た。入院している息子のことが心配だったが、娘の家がある岩沼からはガソリンがない、遠過ぎるで見舞いに行けない。「こんなことしてられない」と仙台市に電話するとあすと長町仮設住宅を紹介され、6月末に入居した。

当初は病院へ行くくらいで外にも出ず、みんなが支援物資をもらっていることすら知らなかった。12月くらいまでそれがつづいた。

ある時、「おしるこだつて。みんなでごちそうになりに行かない？」と声をかけてくれた人がいて、「おしるこカフェ」に参加するようになった。これがきっかけになって、イベントなどの情報も入って来るようになった。

仮設に住む人たちは、迷惑かけないようにとよその家には入らない。それを見て藤沢さんは「よってってけさい」と声をかけるようになった。「年寄りみんな寂しがり屋だから、入り込むと長くなる。そうして自分の部屋はみんなのたまり場になっていったんだ」と語る。

疲れることもある。だから部屋に来るみんなには勝手にやつてもらっている。

「眠たい時はみんなの前でも寝る。自治会長さんからは、「ここは集会所の子分だ」なんて呼ばれてる。オレがつくったんじゃない。みんながつくってるんだと思う。赤ちやうちん出せ」なんて言われる。「ひと部屋五千円で貸すよ」と言う「高い」なんて、そんな冗談を言い合う。楽しい話でもしないとやってられないしな」

お子さんたちだけでなく、ご自身もさまざまな病気を抱えながら、豪快な笑いと繊細な気配り、美味しいピクルスの差し入れで「おしるこカフェ」にとってなくてはならない存在となっている藤沢さん。コミュニケーションの核となっているその原点は、惜しげない「母の愛」、もっと言えば、究極の「ボランティア精神」ではないだろうか。



どこに行っても住めば都。

「どこに行っても住めば都。雨風のげればどこに行っても楽しい。人が自然と集まって来るし、どこに住もうと全然苦にならない」

そんな風に語る佐々木初代さん。昨年（2014年）秋にあすと長町仮設住宅を出て仙台市鹿野の復興住宅に入居した。

戦時中に女学校時代を送り、学徒動員でたばこ工場で働いた。結婚して子どもに恵まれるも、早くにご主人を亡くし、働きに出ざるを得なかったが、それは「自分にとって社会を見るいい経験になった」と、実に前向きな人である。

震災前は仙台市緑ヶ丘のアパートにひとりで住んでいたが、そこにはいつも人が集まっていたという。

「入りやすいんだね。緑側に回って来て、「いる？」って声かけてくるから、「あらいん。お茶？コーヒー？わかった」ってばかばかとわかってやる。仮設に入ってからもおんなじ」

いわば「ひとりおしるこカフェ」を行っているわけだ。

震災時、81歳だった佐々木さんは、直後に秋田経由で神奈川の娘さんのもとへ避難した。そこでは「何をするにも上げ膳据え膳の暮らし」が待っていたが、逆に「それで病気になるってしまっただ」と佐々木さんは言う。

「横浜の総合病院に5日間入院したけど、こんなんじゃダメになると思って、娘にネットですて仙台の住宅を探してもらったのね。で

も7件全部断られた。年寄りの一人暮らしには貸せないって」

5月はじめに祖父の法事でいったん仙台へ帰った折、市役所より災証明の申請と仮設住宅の申し込みを済ませた。毎日毎日、神奈川の娘さんの家で通知が来るのを待ち、5月27日、やっとあすと長町仮設住宅への入居通知が届いた。入居説明会の前々日だった。

仙台市内のホテルで行われた説明会で仮設住宅の部屋の鍵を渡され、6月下旬に入居。間取りも見ずに引越しを頼んでしまい、荷物が多すぎてキャンセルするというトラブルがあったものの、仮設入居後は持ち前のバイタリティーで常に部屋は住民のサロンと化した。我々もいつしか「おしるこカフェ」終了後は、佐々木さんのいれてくれるコーヒーでその日の疲れを癒す、というのが恒例になっていった。

緑ヶ丘4丁目の集団移転先として建設された鹿野の復興住宅へ、比較的早い段階で入居を果たした佐々木さんだが、「仮設住宅も復興住宅も、どっちもおんなじ」と言う。「こっちはこっちでいいし、あつちはあつちでよかった。どこがいいここがいいという人もいるけど、欲を言ったら切りがない」

佐々木さんのカレンダールには、お寺でのコーラスや観音講、寿大学、公園の清掃ボランティアと毎日ぎっしりと予定が入っている。もし私が佐々木さんのような立場に置かれたら、「どこでもおんなじ」などと笑顔で言えるだろうか。



中沢美佐子さんは仙台市深沼生まれ。震災まで72年間ずっとそこで暮らして来た。中学を出て床屋を始め、65歳まで53年間、毎日地域の人々の髪を切り続けた。時には自転車で出張散髪にも行った。

23歳で結婚したが、ご主人は漁師で、遠洋漁業が盛んな頃だったから、結婚して10年間は別居生活だった。お舅さんお姑さんといっしょに留守を守った。お舅さんには91歳で亡くなるまで、「一度も怒られたことはなかった。いいお舅さんだった」と言う。家は郵便局の向かいにあって、二度建て替えをした。花や野菜を育てていた広い庭には、大きな「こんこんさん」(氏神さま)があった。義理の弟が木工の棟梁で、とてもハイカラな家を建ててくれた。誰もがほめそやすその家を、中沢さんはいつも「心の中で自慢していた」という。

早朝二時に起きてご主人が漁に出かける準備をし、8時から床屋に出かける。ご主人は船で赤貝やほっき貝をとった。夏は刺し網。しゃこえびやカニ、舌平目もとれた。市場に持っていくと赤貝は一日10〜15万にもなった。

震災の日、二日後に控えた母の13回忌の買い物をし、お墓の掃除をして、ご主人と一時頃家に戻った。ストーブたいであたっている二時過ぎにご主人が「畑に行つて来る」と出て行った。そしてあの震災。

町内会長さんが「10メートル津波が来る。逃げろ」と自転車で伝えて回った。二階からお金、通帳、ハンコを持ち出した。近く

の小学校へ行くとすでに10人くらいが集まっていた。「入らいい」と言われた。津波は来て「真山堀までだろう」と思っていた。

翌日「何もなかった」と聞かされてびっくりしたが、6月くらいまでは自宅のあった場所まで入れなかった。入れるようになって行ってみると聞いていた通り、何ひとつなくなっていた。

もう新たに家を建てる気はない。82歳の夫は金を借りて建てると言っていたが、心臓も丈夫ではないし、結局あきらめて土地は市に売った。墓もつくった。

とても朗らかでムードメーカーの中沢さん。「部屋にいても、誰とも話をしない。『おしるこカフェ』に来ればみんなと話ができるし、いろいろな美味しいものも食べられて、ひとつ踊ってみるかという気持ちになる」と、時折見事な舞を披露してくれる。

中沢さんが我々に初めての舞を見せてくれたのは、忘れもしない、演歌歌手の静音ちかさんが、駆け落ちの歌を歌ったときのことだ。それを聴き終わった90歳を迎えるご婦人のひとりが、「駆け落ちしたけど、いいことなんてひとつもなかった!」と食ってかかった。和やかな「おしるこカフェ」の空気が一瞬凍りついた。そこで踊りだしたのが中沢さんだ。静音さんはご婦人の言葉に最後まで耳を傾け、すべてを吐き出したご婦人は吹っ切れたように中沢さんの巧みな舞に大声をあげて笑った。

これこそが、究極のコミュニケーション、生きた芸術ではないかと思う。

斎藤かつえさんは昭和23年、仙台市卸町生まれ。新しく地下鉄駅もできることから、今では一躍脚光をあびているエリアだが、当時は田んぼだらけでなにもない場所だったという。しかも育ったのは戦後でモノも何もない時代だ。

「服はみんなつぎはぎだらけ。きれいな服を着てる子なんてひとりもない。でも誰も文句も言わないし、それでいいめられることもなかったね。弁当のおかずはこんぶの佃煮。家では、近くの豆腐屋で買ったがんもどきにしょう油をかけて食べるのが一番のごちそうだった。卵はお父さんだけでね。お父さんだけおかずが一品多い。それをお父さんが帰って来ると分けてくれる。昔は納豆もずんだもみんな自分の家で作ってた。買って来るものなんてほとんどなかったね」

震災の時は仙台市郡山にあったアパートの自分の部屋で昼寝をしていた。とっさに起きて外に出、フェンスにしがみついた。アパートは大規模半壊。窓のサッシはゆがんで中に雪が入った。

避難所になっていた小学校の体育館へ入ったが、危ないからと中学校に移され、その後、部活が始まるからと退去させられた。娘一家にやっかいになったが、6月に仮設住宅に入ることができた。

「住めるところがあるだけでありがたい。同じアパートのみんなといっしょに入居したから、孤立せずにすんだんだと思う。みんな被災者だから仲良がかった。仮設住宅の集会所ではいろんな催しがあるけど、『おしるこカフェ』が一番人が来る。静音ちかさんや山田祥子さんの歌が聴けるし、みんなと話せるし、何より美味しいものが食べられる。『おしるこ』という言葉を知ってつばが出てくる。納豆餅やずんだ餅もいいし、サラダやお雑煮もいい」

食べ物のお話となると尽きることが知らない、いつも明るい斎藤さんだが、見たこともない暗い表情で語ってくれたことが一度だけある。「震災の時は、辛かった。避難所では食事の時間にいないと何ももらえなかった。お弁当が来た時はうれしかったけど、ひとり半分以上ももらえなかった。シャケもミートボールもみんな半分。あれはひどかった」

誰もが「食べる」ということと向き合わせるを得なかったあの時。しかし、「おしるこカフェ」を始めて我々が気付かされたのは、食について真剣に向き合わなければならぬ状況は、震災よりもずっとはるか以前から始まっていたということだ。地域に根ざした、季節季節によつて食されてきた美味しく、滋養に満ちた食文化。右も左もわからぬおやじ二人が始めた「おしるこカフェ」では、その豊かな蓄積を百戦錬磨の仮設住宅に住まうご婦人たちから、手を取り足を取り教えていただくことになる。津波によつても流されることのなかったその文化的な蓄積は、ファストフードとどこへ行ってもいつ買っても均一な品質を誇るスーパーによつて、侵食され、なぎ倒され、忘却されようとしている。震災という不幸な出来事によつて、その土地からもぎ取られた人によつて、東北の豊かな食文化が我々、そして多くの「被災地支援」に訪れた人々に伝えられるようになったというのは、なんと皮肉なことだろう。

飯塚正広さん（あすと長町仮設住宅自治会長）

岩沼の町中に住んでいた飯塚さんの自宅は、3/11の地震ではなく、4/7の余震で壊れた。そのために初動が遅れて岩沼の仮設住宅に入れなかった。みなし仮設も探したが、犬連れだったためなかなか見つからなかった。仙台で見つかったものの小型犬のみ。飼っていたは中型犬だった。

そんな中、娘さんが長町を通りかかり、あすと長町仮設住宅を見つけた。問い合わせるとペット可。「これは」と8月に入居した。

2012年に仮設住宅自治会が立ち上げられた折に会長に就任。さまざまなエリアから移り住んで来た人々を2年がかりでまとめあげ、ここで生まれたコミュニティを保ったまま、周辺の3箇所の復興住宅へ入居する「コミュニティ入居」を実現させた。60世帯以上の「あすとに残りたい」という思いがなかったのだ。

「復興住宅3箇所、それぞれのコミュニティができるだけ早くつくれるようにしていきたい。その一方で、仮設住宅に残される人のこともしっかりと考えていかなければならない。仮設住宅は3箇所ある復興住宅のちょうど中心地点にあたる。「3プラス1」という考え方で臨みたい」と語る。

「おしるこカフェ」については、「甘い物が食べられていい。これだけの人が出てくるのもなかなかない。ぱっちゃんたちの力を引き出していると思う。季節季節が味わえるのもいい。いつもほっこりがありがとう。これからもヨロシク」



利の融資しかなかった。3年据え置き、10年ローンで借りたが、生活が苦しく返済できない、利子しか払えない人が続出したと言う。生活再建支援法創設の活動が実を結んだが、阪神淡路大震災の被災者には遡求されなかった。国会要請や陳情など何十回も行った結果、やっと勝ち取った全壊100万円支給の生活再建支援法の成立。そして20年経った現在直面しているのが、借り上げ公営住宅20年問題。URや民間から借り上げた住宅へ入った世帯が20年間の期間を経て強制的に退去させられるという問題に直面している。入居の際は一切説明がなかった。もちろん契約書にも書いていない。いや賃借契約ではなく「入居許可書」しかないという。

20年経って神戸の復興は未だに終わらず「戦いの毎日だ」と言う言葉が私には印象的で脳裏に残る。

「神戸から東日本大震災へ」と言われたが、まさに私たちは神戸の人たちの負の戦いや冷たい行政を目の当たりにして、「被災者のこころの復興」は本当にできるのだろうか？ 奥山市長が言っている「最後の一人まで丁寧に全力で復興させる」という言葉がいかに難しいかが実感させられた。

今回神戸に行って被災者の本当の声を聞き、私たちも同じような道を4年間も歩んできていると実感した。「このままではいけない、東北の復興は永遠に終わらない」と言いたい。

最後にメモリアルパークに行ったが、メモリアル集会在夜9時までかかってしまったために「1・17」の灯は消えていたが、25年、30年経っても、この灯は消えないだろうと思った。

震災20年の神戸を見て感じて本当にショックでしたが、良かったと思います。私たちも様々なところで戦い続ける勇気をもった気がします。

（Feedbackの2015年1月21日の投稿から、ご本人の許可を得て転載）



阪神淡路大震災 20年メモリアル 集会に参加して

1月17〜18日に神戸で阪神淡路大震災の20年メモリアル集会に参加してきました。街は一見すると震災の跡は見られず、神戸空港や神戸ポートアイランドができていて、みなさんの報告からも「神戸は復興した！」と聞けるんじゃないかな！と期待していました。

ところが、神戸の復興は『創造的復興』の名の元で、神戸空港や新長田町再開発ビルに象徴されるような箱ものの中心の復興が先行し、被災者は置き去りにされた復興が進められた結果の20年だったとの報告が相次ぎました。この20年間の復興は戦いの毎日だったと…

どこかで聞いたことがあると思いませんか？『創造的復興を成し遂げる』と言った村井知事の巨防潮堤、人が戻るかどうかかわからない街づくりなど、東日本大震災でも同様に箱ものの中心の復興ばかりが進んでいるじゃないませんか！

長田の商店主が涙ながらに訴えていました。「新しいビルを作るから土地を売ってくれ、ビルができたところで開店ができるようになります。そこで商売を始めればいい、協力して欲しい」と市の職員に言われ、言うがままにサインをしてしまった。再開発に時間がかかり、9年間も待たされ、仮店舗は5回も移転を繰り返し、店の内装費に3000万円ものお金をかけてようやく開店したが、客足は戻らず…店を売るにも買い取ってもらった価格の1/5〜1/10だと言われた。これでは借金しか残らない。店を続けても赤字経営、重くのしかかる高い共益費。神戸市に買い取って欲しいと言っても聞く耳を持っていない。自己責任だ…

兵庫県や神戸市が再開発するにあたって、きめ細やかに丁寧な説明がなされていれば、こういう人は出なかったはず。まさにショックドクトリンそのものである。

被災者の復興はどうか？

生活支援法が無かったために生活再建をする資金は低



仮設住宅のちびっこたちも大活躍



長町限定のアイドルも「おしるこカフェ」から誕生しました



美術家・開発好明さんの「出入リリー・アート・サーカス」も登場



「仙台雑煮」にさきがけて「創作雑煮」ワークショップ開催



日差しをよけるための緑のカーテン



アイドルから受けるハンドマッサージ



サーカス一座に囲まれて食べるおしるこは格別？



焼きはぜを入れる「仙台雑煮」の作り方を教わったのも仮設住宅のみなさんから。家によっても少しずつ違うそれは、その家の歴史であり、それをつくってきた人の思いや思い出がこたになったもの。



「おしるこカフェ」はおやじふたりで始めました。慣れない手つきで危ない我々を見かねた仮設住宅のみなさんがあれこれと助けてくれるようになり、カフェはみんなの場になっていきました。



千葉県船橋市に住む山本さん姉妹から贈られた「ひな人形」。毎年、集会所を飾ることになります。



新宿区歌舞伎町二丁目にある稲荷鬼神社さんから贈られた「日食めがね」を使い、日食を見る仮設住宅のみなさん。めがねを通して見えたのは、日食だけではなかったと思います。

「おしるこカフェ」は2012年の1月に第一回を開催。集まった30人ほどのみなさんと共有した2時間あまりの場
に手応えを感じ、すでにこの時点で「仮設住宅がつづく限
りやりつづけよう」との決意がなされました。
お互いの顔を見え始めたのは夏を過ぎた頃からでした。毎
回、顔なじみとなったみなさんから、宮城の食についてい
ろいろなことを教えていただくようになり、秋口からは「仙
台雑煮」に取り組むことになりました。



震災にあう前は、その土地に根付いた豊かな食文化のただ中で暮らしていた仮設住宅の皆さん。「おしるこカフェ」ではそんなみなさんからいろいろなことを教えていただいています。



完成した新幹線から見える壁面（下）と、
大通り側の壁面の制作に取り組む沼田さん（左）



かわいい住民に会うのも「おしるこ通信」
を配る楽しみのひとつ



東京芸大の学生たちが制作し
た巨大な「みこし」もお目見
え。

震災にあう前は、その土地に根付いた豊かな食文化のただ中で暮らしていた仮設住宅の皆さん。「おしるこカフェ」ではそんなみなさんからいろいろなることを教えていただいています。そこで気づかされるみなさんが大切にしてくださったこと。本当にたくさん大切なこと。



凍てついた中でも、いつもあったか美味しい「おしるこ
カフェ」とそこに集まるみなさん。



住民の皆さんが手製の漬け物などを持ち寄ってくれます。



枝豆をすりつぶしてつくる「すんだ」には、みんなの思い出がつまっています。
「ばあばと一緒によくつくった」と、今はばあば。
「私がすり鉢をおさえてばあばがすりこぎですりつぶす」
その幸せな時間。におい。甘さ。色。



名取の農家・三浦隆弘さんの畑でその朝とれた食材が
「おしるこカフェ」に並びました。



透き通るような山田祥子さんの歌声



心にしみる静音ちかさんの歌声



「おしるこ通信」に毎回「仙台四郎からの手紙」としてイラストを送ってくれる美術家・パルコキノシタさんとその一座によって仮設住宅の壁にペイント「仮設住宅ラッピング計画」はほぼ完成へ。

コミュニティとアートの可能性を実践の中で考え、育んでいく「コミュニティアート」。もしかしたら、その本当の意味での最も豊かな実践が行われているのが、ここかもしれない。



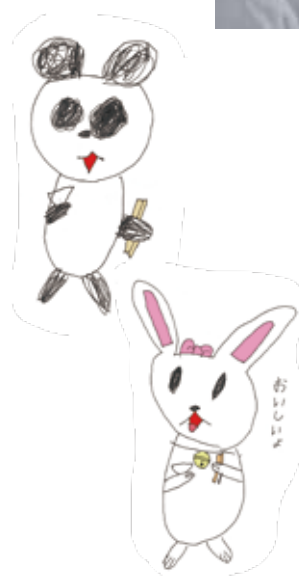
「仙台雑煮」「ずんだ」につづき、宮城「食の博覧会ワークショップ」第三弾として挑戦したのが、宮城の秋の風物詩「芋煮」。里芋を中心にいろいろなものが入ったおいしい鍋です。



「おしるこカフェ」が終わるといつも「よって行かいん」とコーヒーをごちそうしてくれる福の神のような笑顔の佐々木さん。今は復興住宅へ移られ、それでもコーヒーをごちそうしていただいています。



震災直後、多くの人が純粹に持った「誰かのために何かをしたい」というあの気持ち。誰かのために何かをすることに理由などなかったあの時を、タイムマシンのように封じ込めて、今なおそこにあるこの場。



「おしるこ通信」にかわいいイラストを描いてくれるまなみちゃん。



毎年、一生懸命に雛人形を飾りつけるかつての少女たち。ああでもないこうでもない…華やかでゆっくりした時間が過ぎて行きます。

「今日は何にしようかな」毎回、千葉から仙台の仮設住宅へと小豆を煮てやって来る下山さん。仙台朝市や名取の農家、復興商店街などいろいろなで食材を仕入れ、ひとり住まいの多い仮設住宅のみなさんがみんなでかこめるようにと大皿に盛りつけます。



イギリスから視察とワークショップに訪れた振付家ジョー・パークスさんと。

毎月やります！
決のおしるこカフェは…

2月15日(水)
午後一時から三時
於集会所

おしるこはなくなりしだい終了
マイ食器はいりません

千葉県船橋から
からだにやさしい
おしるこが届きます！



無料です

今度はライブやり
イケメンふたり組がやって来る！
その名もズバリ「イケメン、ズ」！
前回「おしるこカフェ」で人気だった「砂版彫」瀬川さんにひきつづき、今回のスペシャルゲストは、仙台を拠点に活動する人気急上昇中のアコースティックデュオ「イケメン、ズ」！
名前にたがわずさわやかなイケメンふたりのライブは午後2時から！

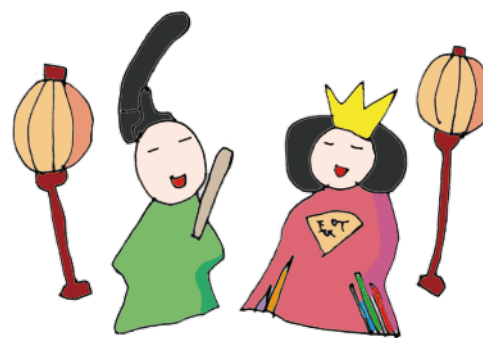


◆お問合せ:アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

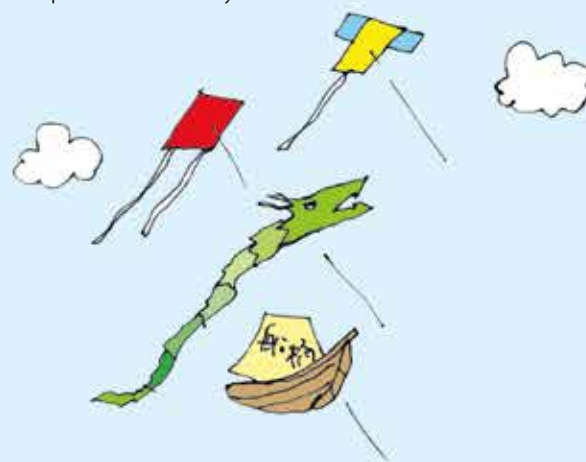
あすと長町
仮設住宅

発行 アートインクルージョン
協力 コミュニティカートあなばじ

おしるこ
通信



おひなさま
もう見ましたか？
おひなさまを
3月3日
午後2時〜 送る会
二月二日、「ひなまつりカフェ」にお集まりいただいたみなさんといっしょに船橋から届いた七段飾りのおひなさまを飾りました。
みなさんがお嫁にいけなくなるまで困るので、三月三日午後二時よりお見送りします。いっしょに片付けてくださる方はぜひお集まりください。



千葉県船橋から
からだにやさしい
おしるこが届きます！

できればマイ食器をお持ちください



おしるこを食べたり
書き初めをしたり
いろいろなお話をしたり
のんびりお正月気分味わえる
一日限りのカフェです。
どうぞお誘いあわせの上
おこしください。



あすと長町
仮設住宅

主催 アートインクルージョン &
コミュニティカートあなばじ

おしるこ
カフェ

二〇一二年一月十二日(水)
午後一時〜三時
あすと長町仮設住宅集会所
無料(食べ物はおなくなり次第終了)

◆お問合せ:アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

今度のおしるこカフェは…

3月8日(木)
午後一時から三時
集会所にて

おしるこはなくなり
したい終了となります

千葉県船橋から
からだにやさしい
おしるこが届きます!

今度のおもちは
長町商店街にある
「郡山餅店」
のおもちです。

サンキュー
アートワーク
はじまります!

3月7日～18日、長町商店街で
「サンキューアートワーク」が
開催されます。
仮設住宅のみなさまには500円
分のプロジェクトマネー(参加店
のみ使える商品券)をお配りしま
す。ぜひこの機会に長町商店街の
味わい深い魅力をご堪能くださ
い。11日には「びすたろり」にて
ライブやトークイベントも行われ
ます! 詳しくはチラシで。

長町商店街の魅力発見

「おしるこカフェ」に「すごろくラウ
ンジ」を設け、何回かかけてみなさま
からお話をお聞きして作っていきたく
と思います。

すごろくラウ
ンジ

みんなですごろく
作りませんか?

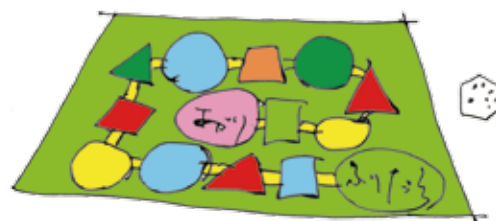
あすと長町
仮設住宅

発行 カート・インクルージョン
協力 アート・インクルージョン
「アート・インクルージョン」

おしるこ
通信



第4号



無料です

発行中の
アイズにも
掲載されて
います

千葉県船橋から七段飾りの
おひなさまが届きます!
ドイツから桃の花も届きます!

みんなで
ひな飾りをしましょう!
※設置スタッフは始めて雛飾りをする
ビギナー。どうぞご指導下さい



次の「おしるこカフェ」は…
2月15日(水)午後1～3時
仮設住宅集会所にて開催!
お楽しみに!

今度のはひな飾りをしながら
のんびりひな祭り気分を
味わうのカフェを開きます。
どうぞお誘いあわせの上
おこしください。

あすと長町
仮設住宅

主催 カート・インクルージョン
協力 ちばMROエコネット

ひなまつり
カフェ



二〇一二年二月二日(木)
午後一時～三時
あすと長町仮設住宅集会所
みんなで雛飾りをした後、
甘酒を飲みます(無料)

コンサート あま
5月19日(土)午後3～4時、
大阪芸大・宮下先生のコンサートがあります。
ピアノと、バリトン、集まった皆さんと童謡
などを歌う予定です。
どうぞお楽しみに!

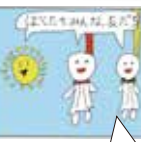
またまた 日本地図完成!!

1～2月の「おしるこカフェ」でみなさん
にかいていたいたプラスチックダンボー
ル製のブロックですが、3月の九州・福岡
引き続き、今度は新宿・歌舞伎町で大きな
ひとつの日本地図になりました!
「日食めがね」を贈ってくださる稲荷鬼王神社さんの境内に 5/14～
19展示されています。なおブロックは今後も大切に使用していきます。

今度のおしるこカフェは…
6月23日(土)
午後一時から三時
集会所にて

今度もおもち
は長町商店街にある
「郡山餅店」の美味い
お餅をご用意。
また手でちぎれる
のし餅状でやって来ます。

石巻の小学生ヒロキの 人間生活



石巻の子どもたちとつくる
「石巻日白こども新聞」のこ
ども記者ヒロキくん(小5)
が「おしるこ通信」に4コ
マまんがを提供してくれま
した!連載中?

原稿 募集中

「おしるこ通信」ではみなさまからのおたよりや
エッセイ、短歌など掲載したい記事を募集してい
ます。「おしるこカフェ」のにおりにお待ちくださ
ると次号に掲載いたします。
お待ちしております。

http://art-in.org/ http://www.communityart.net

日食を見る会を開きます!
5月21日(月)
朝七時から八時頃
広場集合 「日食めがね」が
80個届きました!

5/21
は日食!

日食は6時半
くらいから始まり
7:40頃最大に
なるようです



◆お問合せ:アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

あすと長町
仮設住宅

日食を
見る会
通信

おしるこ通信第七号

5月21日(月)朝、日食が見られるそうです。
残念ながら仙台で見られるのは「部分食」だそ
うですが、この日食を安全に見るための「日食
めがね」を新宿・歌舞伎町にある稲荷鬼王神社
さんが贈って下さることにになりました。
散歩がてら、お仕事の前に、
ちよとした息ぬきに
ぜひお集まり下さい!

◆お問合せ:アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

http://art-in.org/ http://www.communityart.net

今度のおしるこカフェは…
6月23日(土)
午後一時から三時
集会所にて

13:30～長町周辺の遺跡のヒミツ
にせまる!?お話会もあります!



お話会ひらきます! 13:30～
「古代の役所跡
～郡山遺跡について」

あすと長町仮設住宅の近くには古代の
お役所がありました。
今でもその辺をほると土器の破片が
出て来るそうです。
みなさんがお住まいの地域が古代は
どうだったかタイムスリップしていく
30分ほどのお話会です!
お話会のあと質問コーナーもあります。



◆お問合せ:アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

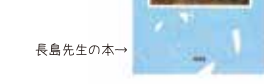
あすと長町
仮設住宅

おしるこ
通信

第八号

お話しして下さる方:
長島 榮一(ながしま えいち) 先生

1957年、宮城県生まれ。東北学院大学文学部史学科国史古
代史専攻卒業。現在、仙台市教育委員会文化財課整備活用
係長。日本考古学協会会員、宮城県考古学会会員
〈主要論文等〉仙台市史「特別編2 考古資料」、「資料編
1」執筆委員、「仙台市郡山遺跡出土の平瓦について」『阿部
正光君追悼集』阿部正光君追悼集刊行会 2000年、『郡山遺跡
日本の遺跡 35 同成社 2009年



◆お問合せ:アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

集まってきたお話

■仙台市若林区藤塚
ゆりあげ大橋の橋の根っこあたり
にある集落。大きい農家などがあ
り、家に帰ると誰か置いていった
のかわからない野菜が置いてある
ようなまちだった。

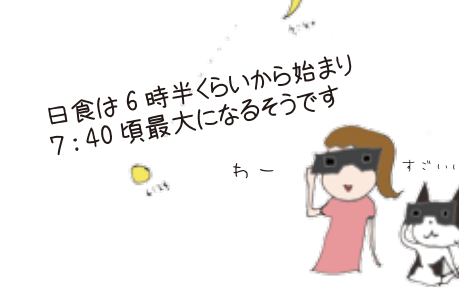
■南三陸町志津川
神割崎、荒島(あれしま)には
神社がある。島のかけの堤防は
いい釣り場であいなめやかれい、
めばるが釣れた

■南相馬市
自然が豊かで海あり山あり。
いずれも自転車で行けた。
「野馬追い」の武将の衣装は見
事で子どもの頃から見ていた。

■仙台市郡山6丁目
郡山地区の皆様は心あたたかく人
情があり、会長さんがとても親切
な所でした。遺跡等が有名です。
中学校にはプラスバンド等があり、
とても幸せな地区です。



5月21日(月)朝、日食が見られるそうです。
残念ながら仙台で見られるのは「金環食」では
なく、「部分食」だそうです。この日食を安全
に見るための「日食めがね」を東京・歌舞伎
町にある稲荷鬼王神社さんが贈って下さるこ
とになりました。
散歩がてら、お仕事の前に
どうぞ広場にお集まり
下さい!



3月にお聞きしたお話をもとに前回4月、試作版
を作ってみました。「あら、うちのも書いて」
とどんな新たな「わがまちの思い出・自慢」が
登場!
5/3の「おしるこカフェ」でもできたところまでご
披露します。
「思い出・まち自慢」はいつでも大歓迎です。
ぜひお聞かせ下さい。



あすと長町
仮設住宅

おしるこ
通信

第九号

今度のおしるこカフェは…
4月14日(土)
午後一時から三時
集会所にて

おしるこはなくなり
したい終了となります

http://art-in.org/ http://www.communityart.net

あすと長町
仮設住宅

おしるこ
通信

第十号

今度のおしるこカフェは…
5月3日(ホ・祝)
午後一時から三時
集会所にて

おしるこはなくなり
したい終了となります

http://art-in.org/ http://www.communityart.net

今度のおしるこカフェは…
4月14日(土)
午後一時から三時
集会所にて

おしるこはなくなり
したい終了となります



今度もおもち
は長町商店街にある
「郡山餅店」の美味い
お餅をご用意。
また手でちぎれる
のし餅状でやって来ます。



1～2月の「おしるこカフェ」でみ
なさんにかいていたいたプラス
チックダンボール製のブロックが、
3月に九州・福岡で大きなひとつ
の日本地図になりました!
「東北九州プロジェクト」という企画
でつくりました。ブロックは今後も
大切に使用していきます。

◆お問合せ:アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

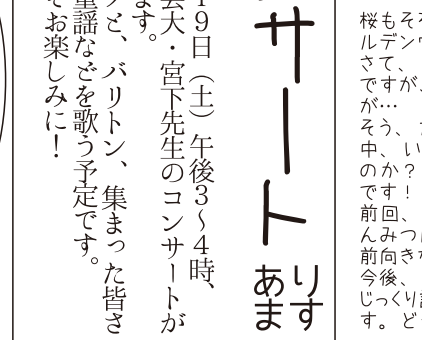
http://art-in.org/ http://www.communityart.net

今度のおしるこカフェは…
5月3日(ホ・祝)
午後一時から三時
集会所にて

おしるこはなくなり
したい終了となります



今度もおもち
は長町商店街にある
「郡山餅店」の美味い
お餅をご用意。
また手でちぎれる
のし餅状でやって来ます。



◆お問合せ:アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

あすと長町
仮設住宅

おしるこ
通信

第十一号

今度のおしるこカフェは…
6月23日(土)
午後一時から三時
集会所にて

おしるこはなくなり
したい終了となります

http://art-in.org/ http://www.communityart.net

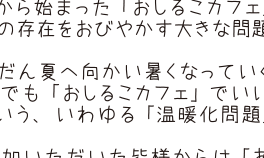
あすと長町
仮設住宅

おしるこ
通信

第十二号

今度のおしるこカフェは…
5月3日(ホ・祝)
午後一時から三時
集会所にて

おしるこはなくなり
したい終了となります



今度もおもち
は長町商店街にある
「郡山餅店」の美味い
お餅をご用意。
また手でちぎれる
のし餅状でやって来ます。

◆お問合せ:アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

未来郵便局
開設!

おしるこはなくなり
したい終了となります

http://art-in.org/ http://www.communityart.net

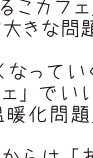
あすと長町
仮設住宅

おしるこ
通信

第十三号

今度のおしるこカフェは…
5月3日(ホ・祝)
午後一時から三時
集会所にて

おしるこはなくなり
したい終了となります



今度もおもち
は長町商店街にある
「郡山餅店」の美味い
お餅をご用意。
また手でちぎれる
のし餅状でやって来ます。

◆お問合せ:アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

みんなでおしるこ
食べましょう

あがり！

あすと長町 仮設住宅 おしるこすごろく



ふりだし

南三陸町志津川

神割崎、荒島（あれしま）には神社があります。島のかげの堤防はいい釣り場であいなめやかいい、めばるが釣れました。



石巻

水産加工の仕事をしていました。ずっと仕事があったのが、よかった思い出です。



くぐりはま 牡鹿町十八成浜

40 そうほどの船があり、漁師がたくさん住んでいました。刺し網であわびやしやこえび、うになど、たて網でさけやたい、きはぎ、はなみいかなどがとれました。石巻市場に朝早くもって行き、二往復することもありました。



多賀城市出花

女の子にモテモテで、弟とふたりでバレンタインにチョコを100コもらいました。



仙台荒浜

庭で花いじりをしていました。近所づきあいがいまじでした。あたたかく、仙台の他のところには雪が降ってもここでは降らなかったり。



仙台荒浜

団結力があるまちです。海が近く、砂浜ではよく海水浴をしました。乗馬クラブがあって馬がいました。昔はやぶさめをやっていました。



仙台藤塚

ゆりあげ大橋の橋の根っこあたりにある集落です。大きい農家などがあり、家に帰ると誰が置いていったのかわからない野菜が置いてあるようなまちです。昔は土手で盆踊りや運動会が行われました。楽しみは勝手にお茶のみ。



仙台郡山

とても立派なかんが（役所の跡）があります。多賀城に政庁が移る前のものだそうです。



名取市関上

海や川をながめながらの散歩コースがたくさんあって住みやすいまちでした。



仙台長町

ザ・モール長町は以前は鋳物工場でした。お店がたくさんあり、ちんちん電車で買い出しに来ました。みんなが歩いていた。空襲がなかったから古い家が多いです。



仙台郡山

みな心あたたく、人情があり、会長さんがとても親切なまちです。中学校にはブラスバンド等があり、とても幸せな地区です。



亘理町

静かでいい人ばかり。みんな農業や漁業の知識が豊富で外から来た人にも親切で暮らしやすかったです。ハラコ飯、ホッキ飯。夏は「北の湘南」と言われ若い人が訪れバーベキューでにぎわいました。



岩沼市玉浦

家から南2キロはずっと見渡す限り田んぼ。遠くに阿武隈川が見えました。



山元町

療養のために移りましたが、こんないいところはないです。うそじゃないですよ。住んでいる人は素直でいい人ばかり。イチゴ園などが有名。



南相馬原町

自然が豊かで海あり山あり。いずれも自転車で行けました。「野馬追い」が有名で、子供の頃から立派な武将の衣装に見られていました。

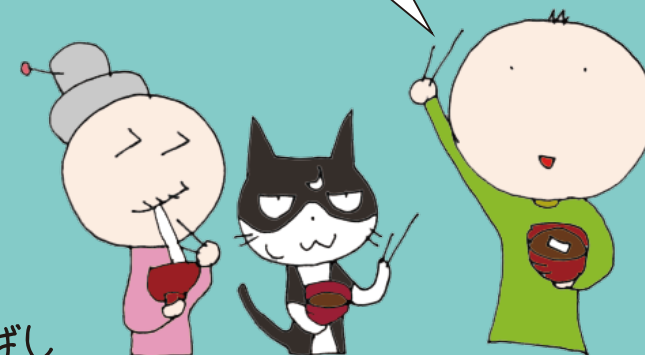


仙台長町

長町は暖かい人たちがたくさん住む、住みやすいまちです。みんなで力を合わせて楽しく生きて行きましょう！



あすと長町仮設住宅にお住まいのみなさんから、以前お住まいのまちの思い出やいいところをお聞きしてすごろくをつくりました！



制作：アート・インクルージョン
コミュニティアート・ふなばし

石巻の小学生ヒロキが描く！
人間生活
その4

ヒロキくんは小学5年生。石巻のこどもたちが石巻日日新聞社の全面協力を受けてつくっている「石巻日日こども新聞」のこども記者で4コマを担当しています。「おしるこ通信」にも毎回新作を書き下ろしてくれしますのでお楽しみに！
なお、「こども新聞」の最新刊が9/11発行になりました。次回の「おしるこカフェ」で配布いたします！

あの歌舞伎町でもおしるこカフェ大好評♪

毎回おしるこを持って千葉からやって来るコミュニティアート・ふなばし下山さんは全国でアト・プロジェクトを展開して、いまが立ち並ぶ歌舞伎町2丁目「ホテル白川郷」を開設。新聞でも報じられ、長崎の原爆を30キロ先から見たという婦人など数人が来場され、あすと長町のみなさんに思いをこめていただきました。

昨年8月と10月にあすと長町にやって来た美術家開発好明さん率いるアートなサーカス一座が今度の「おしるこカフェ」にあわせてやって来ます！(9/22午後、広場と集会所) 巨大なソフト彫刻やワークショップなど楽しいこといっぱい！ぜひ、おしるこを合わせてお楽しみ下さい！

9/22 午後 広場&集会所

今度のおしるこカフェは…
9月22日(土)
午後一時から三時
集会所にて
持ち寄り歓迎！
みなぎの料理を教えてください

コミュニティアート・ふなばし下山理事長が千歳の自宅まで3日3晩、いよいよに煮た小豆を持って来ます！
お餅は長町の戦山餅店さんのつきたてのお餅♪

“我が家”のお雑煮 教えて下さい

今年はまだまだ残暑が厳しいですが、あと3月ほどで年末。「おしるこカフェ」が始まって1年がたちます。毎回千葉から小豆を煮てやって来るコミュニティアート・ふなばし下山さんは、「おしるこカフェ」で、お集まりのみなさんと「食」について意見交換していく中、地元千葉と宮城の食文化の違いにおどろき、たいへんおもしろいと興味をもつようになったそうです。

◆お問合せ：アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

あすと長町 仮設住宅 おしるこ通信
第11号

主筆発行 アート・インクルージョン
協力 コミュニティアート・ふなばし

例えば「餅」。「おしるこカフェ」を開くために初めて仙台の餅店で売っているのし餅を見て「なんて分厚いんだ!」と驚きました(関東はもっと薄いそうです)。逆に7月に振舞われた大根おろしをあえた「からみ餅」は、関東では普通に食べるそうですが、宮城では珍しかったですよ。そこで10月くらいから宮城の「うちのお雑煮」をご教授いただけないでしょうか。可能であれば、1月の「おしるこカフェ」でさまざまな「うちのお雑煮」を味わえたらと考えています。

◆お問合せ：アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

石巻の小学生ヒロキの人間生活
その2

ヒロキくんは石巻の小学5年生。石巻のこどもたちがつくる「石巻日日こども新聞」のこども記者でもあります。4コマを連載してくれしますのでお楽しみに！

お話し会 ひらきました
「古代の役所跡～郡山遺跡について」

前回の「おしるこカフェ」では仙台市教育委員会文化財課から長島榮一先生をおまねきし、初めのお話し会を開催していただきました。あすと長町仮設住宅周辺が古昔はさうなっていたのかと、東北地方のハイテク土器文化が西へ伝わっていたことが、この企画に興味深いお話しの数々でしたが、このアイデアで実現したものです。

「おしるこカフェ」はみなさまとつづいていく場にしたと考えています。「こういふ企画をやってみよう」ということを、ぜひご提案ください。

アート・インクルージョン サマープロジェクト 2012

7月16日(月・海の日) 10～12時、仙台市本町1丁目の第三白梅ビル4Fにある「ほつぷの森」で楽しいアートワークショップが開催されます！どなたでも参加できて参加無料！ぜひお越しください！

「おしるこ通信」ではみなさまからの手紙やエッセイ、短歌など掲載したい記事を集めています。「おしるこカフェ」のりにお持ちくださると次号に掲載いたします。どうぞふるってご応募下さい！

今度のおしるこカフェは…
7月17日(火)
午後一時から三時
集会所にて
おいしい甘酒も届いています！
天賞さんの栄養たっぷりあまざけです!!!

千歳開始からからだにやさしくて美味いおしるこが届きます！
お餅は長町の戦山餅店さんのやわらかくておいしいお餅♪

すくすくプロジェクト

あすと長町仮設住宅はいろいろなところからいらしてやっていいるので、みなさんが以前お住まいだったまちのいいところや思い出をお聞きし、それで「すくすく」を作っています。作っているごあんまりステキなまちは、いろいろなところ、お聞きした場所を、実際に訪れたりも。完成したらぜひやってみましょう！

◆お問合せ：アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

あすと長町 仮設住宅 おしるこ通信
第九号

発行主筆 アート・インクルージョン
協力 コミュニティアート・ふなばし

集会所エントランス リニューアル計画

集会所のエントランスをカラフルに飾っているアート・インクルージョンのプラダン。昨年に設置されましたがそろそろ暑い季節。「衣替え」を考えています。どんな感じにしたいかご意見お聞かせください！

石巻の小学生ヒロキが描く！
人間生活
その5

ヒロキくんは小学5年生。石巻のこどもたちが石巻日日新聞社の全面協力を受けてつくっている「石巻日日こども新聞」のこども記者で4コマを担当しています。「おしるこ通信」にも毎回新作を書き下ろしてくれしますのでお楽しみに！

アイドル再々登場！
ハンドマッサージも♪

3月そして6月とあすと長町仮設住宅を訪れた準備中長町限定地域アイドル藤原明子さんが、再び「おしるこカフェ」に登場します！翌10月20日12時から長町駅前広場で行われる大事なデビュー・ステージをひかえながらも、仮設のみなさまにハンドマッサージをしてくれるそうです！(人数制限有) 先着10名様限りのデビューボスタブプレゼントもあります。ぜひおこしください！

いよいよアート・インクルージョン 2012 開催します！

19日は「アート・インクルージョン2012」の第一日でもあります。仙台西側に扮した美術家バルコ木下さんが登場。カラオケ合戦を繰り広げたり、民謡でかたりたり踊ったり、静音くんが描いたおたたり、仮設住宅の壁に絵を描いた画家が中川和寿さん、大輔さん、沼田佳苗さんができた壁画のお披露目をいたします！

みなさま、ぜひ午後を過ごしましょう！なお、20日は長町駅前広場やラガーデン長町、レストランびすたりで演奏やアートが楽しめます。ぜひ秋晴れの散歩がてら足をのばしてご覧ください。詳細はチラシをご用意しています。

◆お問合せ：アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

今度のおしるこカフェは…
10月19日(金)
午後一時から三時
集会所にて
持ち寄り歓迎！
船橋市本町通り商店街からハンドクリームも届いています

コミュニティアート・ふなばし下山理事長が千歳の自宅まで3日3晩、いよいよに煮た小豆と関東風雑煮を持って来ます！
お餅は長町の戦山餅店さんのつきたてのお餅♪

仙の四郎が 静音くんが やって来る！

19日は「アート・インクルージョン2012」の第一日でもあります。仙台西側に扮した美術家バルコ木下さんが登場。カラオケ合戦を繰り広げたり、民謡でかたりたり踊ったり、静音くんが描いたおたたり、仮設住宅の壁に絵を描いた画家が中川和寿さん、大輔さん、沼田佳苗さんができた壁画のお披露目をいたします！

◆お問合せ：アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

あすと長町 仮設住宅 おしるこ通信
第12号

主筆発行 アート・インクルージョン
協力 コミュニティアート・ふなばし

関東風雑煮を 堪能あれ！
船橋からの挑戦状

毎回、千葉から丹念に煮た小豆を持って来るコミュニティアート・ふなばし下山理事長。「宮城の食文化をもっと知りたい!」「このことについて、お聞きしたい!」と、このこと集まってきた情報を総合すると、若干の違いはあるものの、だいたい以下の点では同じであることがわかってきました。以下の点では同じであることがわかってきました。(鶏肉を入れたり代わりにすきやうも入れたり) 鶏肉を入れたり代わりにすきやうも入れたり。鶏肉を入れたり代わりにすきやうも入れたり。鶏肉を入れたり代わりにすきやうも入れたり。

◆お問合せ：アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

石巻の小学生ヒロキの人間生活
その3

ヒロキくんは石巻の小学5年生。石巻のこどもたちがつくる「石巻日日こども新聞」のこども記者でもあります。4コマを連載してくれしますのでお楽しみに！

歌舞伎町でもおしるこカフェやります！

五月の日の食の折、歌舞伎町二丁目にある稲荷鬼王神社さんから「日食めがね」が届いたのは記憶に新しいところですが、今度は同じ歌舞伎町二丁目にあるホテル白川郷さんのロビーで「おしるこカフェ」を行うことになりました。

歌舞伎町は「怖い」「危ない」といったイメージのつきまどうまちですが、みなさまと長町で行って来た「おしるこカフェ」を開催し、さまざまな人との通った場を共有することで、そのイメージがかわって見えてくるのではないかと考えています。

そうした意味で「おしるこカフェ」はまさに長町発「コミュニティ」になる場所になります。

フェスティバル FUKUSHIMA! in 歌舞伎町
8.18 Sat ~ 8.26 Sun
ホテル白川郷 ロビー
東北と歌舞伎町。

今度のおしるこカフェは…
8月10日(金)
午後一時から三時
集会所にて
持ち寄り歓迎！
ご自慢の暑気払いメニューなど教えてください

下山理事長が千歳で3日3晩でいよいよに小豆を煮て来てます！
お餅は長町の戦山餅店さんのやわらかくておいしいお餅♪

ひさびさの中学生登場?!

4~5月の「おしるこカフェ」に参加し、5月には生徒会長と副会長も連れてきた五橋中三年の鉄道大好き少年ワタルくん。今回は夏休みというところで久々の登場です。

「仮設のみなさんとお話しさせていたたいで、すこい経験ができた」と喜んでいいる彼。みなさまでまたまたご指導よろしくお願いたします。

◆お問合せ：アート・インクルージョン(門脇) 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

あすと長町 仮設住宅 おしるこ通信
第十号

発行主筆 アート・インクルージョン
協力 コミュニティアート・ふなばし

からみ餅 大好評！

「そろそろおしるこにはキツイ時期かもしれない」と考えた「おしるこカフェ」主宰でコミュニティアート・ふなばし理事長の下山さん。前回、千葉ではよく食べるという、醤油で味付けした大根おろしをかけて食べる「からみ餅」を提供したところ、「辛くておいしい」と大好評。小豆の甘さ加減やのし餅の厚さなど、「おしるこカフェ」は、食文化のちがいが豊かさに改めて気づかされる場になっています。お雑煮なども気になるところですね。

石巻の小学生ヒロキが描く！
人間生活
その 11

衝撃の結末は！？
…次回明らかに

石巻に住む小学6年生ヒロキくん
による書き下ろし4コマ！

Emiko Yamamoto
船橋の女流画家 第二回
山本江美子劇場

あすと長町
仮設住宅
2013年

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第17号

ついに歌舞伎町と
ホットライン開設!!

歌舞伎町一丁目
で「旅籠のおもてなし」
をカタクにも守る
「ホテル白川郷」でも
「おしるこカフェ」を
開催すること
です。お伝えして
ございますが、この「ホテル
白川郷」の小坂和香支配人が
「ぜひあすと長町の方とお話したい」と
次回のおしるこカフェの時間内にテレビ電話で登場
することにしました！
ホテルの前は通称「ホスト通り」と呼ばれるホストク
ラブ密集地帯。伝説のホストクラブ「愛も目と鼻の先
です。またホテル隣には「おなべ」も店を構えてお
り、それらも当日で驚いたばかりの予定です。
「おしるこ」を通して不思議な縁をぜひお楽しみに。

あすと長町
仮設住宅
2013年

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第19号

あすと長町
仮設住宅
2013年 5月号

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第19号

あすと長町
仮設住宅
2013年 5月号

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第19号

あすと長町
仮設住宅
2013年 5月号

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第19号

石巻の小学生ヒロキが描く！
人間生活
その 12

衝撃の結末は！？
…次回明らかに

石巻に住む小学6年生ヒロキくん
による書き下ろし4コマ！

Emiko Yamamoto
船橋の女流画家 第二回
山本江美子劇場

あすと長町
仮設住宅
2013年

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第18号

ついに歌舞伎町と
ホットライン開設!!

歌舞伎町一丁目
で「旅籠のおもてなし」
をカタクにも守る
「ホテル白川郷」でも
「おしるこカフェ」を
開催すること
です。お伝えして
ございますが、この「ホテル
白川郷」の小坂和香支配人が
「ぜひあすと長町の方とお話したい」と
次回のおしるこカフェの時間内にテレビ電話で登場
することにしました！
ホテルの前は通称「ホスト通り」と呼ばれるホストク
ラブ密集地帯。伝説のホストクラブ「愛も目と鼻の先
です。またホテル隣には「おなべ」も店を構えてお
り、それらも当日で驚いたばかりの予定です。
「おしるこ」を通して不思議な縁をぜひお楽しみに。

あすと長町
仮設住宅
2013年

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第18号

あすと長町
仮設住宅
2013年 6月号

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第20号

あすと長町
仮設住宅
2013年 6月号

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第20号

石巻の小学生ヒロキが描く！
人間生活
その 12

衝撃の結末は！？
…次回明らかに

石巻に住む小学6年生ヒロキくん
による書き下ろし4コマ！

Emiko Yamamoto
船橋の女流画家 第二回
山本江美子劇場

あすと長町
仮設住宅
2013年

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第18号

ついに歌舞伎町と
ホットライン開設!!

歌舞伎町一丁目
で「旅籠のおもてなし」
をカタクにも守る
「ホテル白川郷」でも
「おしるこカフェ」を
開催すること
です。お伝えして
ございますが、この「ホテル
白川郷」の小坂和香支配人が
「ぜひあすと長町の方とお話したい」と
次回のおしるこカフェの時間内にテレビ電話で登場
することにしました！
ホテルの前は通称「ホスト通り」と呼ばれるホストク
ラブ密集地帯。伝説のホストクラブ「愛も目と鼻の先
です。またホテル隣には「おなべ」も店を構えてお
り、それらも当日で驚いたばかりの予定です。
「おしるこ」を通して不思議な縁をぜひお楽しみに。

あすと長町
仮設住宅
2013年

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第18号

あすと長町
仮設住宅
2013年 6月号

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第20号

あすと長町
仮設住宅
2013年 6月号

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第20号

石巻の小学生ヒロキが描く！
人間生活
その 12

衝撃の結末は！？
…次回明らかに

石巻に住む小学6年生ヒロキくん
による書き下ろし4コマ！

Emiko Yamamoto
船橋の女流画家 第二回
山本江美子劇場

あすと長町
仮設住宅
2013年

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第18号

ついに歌舞伎町と
ホットライン開設!!

歌舞伎町一丁目
で「旅籠のおもてなし」
をカタクにも守る
「ホテル白川郷」でも
「おしるこカフェ」を
開催すること
です。お伝えして
ございますが、この「ホテル
白川郷」の小坂和香支配人が
「ぜひあすと長町の方とお話したい」と
次回のおしるこカフェの時間内にテレビ電話で登場
することにしました！
ホテルの前は通称「ホスト通り」と呼ばれるホストク
ラブ密集地帯。伝説のホストクラブ「愛も目と鼻の先
です。またホテル隣には「おなべ」も店を構えてお
り、それらも当日で驚いたばかりの予定です。
「おしるこ」を通して不思議な縁をぜひお楽しみに。

あすと長町
仮設住宅
2013年

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第18号

あすと長町
仮設住宅
2013年 6月号

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第20号

あすと長町
仮設住宅
2013年 6月号

主催発行 アート・インクルージョン
コミュニティ・アート・あなばし
3.77NP0+復興支援協議会

第20号

アート・インクルージョン 2013

来月10月は毎年恒例、長町商店街を舞台に「アート・インクルージョン」が行われます。

今年10月の一ヶ月間、商店街で使える「プロジェクトマネー」を「おしるこカフェ」にご参加のみなさんを中心にお配りします。ぜひおこしくさい！

10月中は商店街約10カ所アート作品を展示。10/19(土)には長町エリア3カ所ライブが行われる他、あすと長町の仙台四郎ことバルコキノシタさんが来仙します！

最終日の10/31(木)はあすと長町で「おしるこカフェ」です。

仙台四郎とその弟子 からの手紙 その五

バルコキノシタ & ちいちゃん

くーすかぴーの巻 no. 3

こんにちは、ちいちゃんです。暑さも通り過ぎてもうすぐ秋ですね。下手な話ですがちいちゃんは読書が大好きです。特にミステリー小説が好きです。あのドキドキワクワクが堪りません！

少しずつ寒くなってくる季節ですね。ちいちゃんみたいに読書中にとくとく・・・なんてことあるかと思いますが、しっかり暖かい格好をして風邪などに負けないよう秋を楽しんでください！

あのアイドルが再び来仙！

長町限定アイドルとして昨年デビューを飾り、これまで数回にわたりあすと長町のみなさまにもかわいがっていただいていたまいりました篠塚明子改めアイドル「もりかおり」さんが、再びみなさまの前に登場します！

8月には本人の所属するさるエージェントからステキなかおりのする入浴剤をプレゼントさせていただきましたが、今回は本人自ら来仙し、ハンドマッサージをほどこします！！

ニューコスチュームを着用しての登場となりますので、ぜひカメラとサイン色紙の用意をお忘れなく！

あのロボットは何？！

すでにお気づきの方も多いと思いますが、10/19の夕暮れ時に突如として出現したロボット。その正体は東京藝術大学先端芸術表現科・音楽環境創造科学生による「アート神輿」！

芸大生約50名が制作にあたり、被災地に運びたいとの意向が「おしるこカフェ」でもおなじみ宮城教育大学村上タカシ氏によせられ、あすと長町仮設住宅自治会のみなさまのご厚意を得て1年間ほど展示させていただくことになりました。

アート神輿の正式名は「レトロフューチャー」。ぜひお見知りおきください！

仙台四郎とその弟子 からの手紙 その六

バルコキノシタ & ちいちゃん

毎回「おしるこ通信」にステキな仙台四郎のイラストを送ってくださる「あすと長町の仙台四郎ことバルコキノシタさん。長町駅前で行われた10月のアート・インクルージョンを訪れ、来場者ごどもに絵を描くワークショップを行ったほか、今回は仙台一番町にある「かしわ湯」にも素晴らしい絵を描いて行かれたそうです。

http://art-in.org/ http://www.communityart.net

あすと長町 仮設住宅

2013年 9月号

今度のおしるこカフェは…

9月17日(火)

午後7時から3時

おしるこ復活！持ち込み大歓迎！

おしるこはコミュニティアート・ふなばし下山理事長が三日三晩煮込んで千葉から持ってきます。

お餅は長町の郡山餅店さんのつきたてのお餅♪

無料です！

あすと長町のみなさまから、生活に根付いたその豊かな食の営みについてご指導いただき「おしるこカフェ」の博覧会。前回・前々回と開催した「ずんだワークショップ」では長町のひすたーりフードマーケット「スタップ」で名取下余田で代々農家を営む若き跡取り・三浦さんの美味しい豆とあすと長町のみなさまの見事なすりこぎさきとで、まさに奇跡とも言つべき楽しくまた美味しい時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました！

今月は「お茶づけ」をテーマに進めてまいります。たいと思っております。

また、来月くらいから昨年に引き続き、「みやぎお雑煮博覧会」と題し、宮城のお雑煮にスポットをあてたワークショップを行いたいと考えています。引き続き三浦さんにご協力いただき、美味しく安全な食材をご用意いたしますので、どうぞみなさまのご指導よろしくお願いいたします！

主催・発行：一般財団法人アート・インクルージョン、特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし、一般社団法人MMIX Lab

共催：あすと長町仮設自治会、宮城教育大学村上タカシ研究室

お問合せ：門脇篤 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

http://art-in.org/ http://communityart.cocolog-nifty.com/news/

あすと長町 仮設住宅

2013年 10月号

今度のおしるこカフェは…

10月31日(木)

午後7時から3時

持ち込み大歓迎！お雑煮も！

おしるこはコミュニティアート・ふなばし下山理事長が三日三晩煮込んで千葉から持ってきます。

お餅は長町の郡山餅店さんのつきたてのお餅です♪

無料です！

あすと長町のみなさまから、生活に根付いたその豊かな食の営みについてご指導いただき「おしるこカフェ」の博覧会。前回・前々回と開催した「ずんだワークショップ」については、昨年非常に勉強になったお雑煮ワークショップを今年も開催します！

今月は手始めに千葉から通って来るコミュニティアート・ふなばし下山理事長の手による「関東風雑煮」！貝沢山の宮城のお雑煮からするとあまりにもシンプル過ぎて物足りないうえに、この声もあがりそうです。そこは下山さんのことですからみなさんをご満足させる「仕掛け」を考えていることとします。

お雑煮をタシに、またよもやまばなしに花を咲かせたいと思いますので、よろしくお願いたします！

主催・発行：特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし、一般財団法人アート・インクルージョン、一般社団法人MMIX Lab

共催：あすと長町仮設自治会、宮城教育大学村上タカシ研究室

お問合せ：門脇篤 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

あすと長町 仮設住宅

2013年 9月号

今度のおしるこカフェは…

9月17日(火)

午後7時から3時

おしるこ復活！持ち込み大歓迎！

あすと長町のみなさまから、生活に根付いたその豊かな食の営みについてご指導いただき「おしるこカフェ」の博覧会。前回・前々回と開催した「ずんだワークショップ」では長町のひすたーりフードマーケット「スタップ」で名取下余田で代々農家を営む若き跡取り・三浦さんの美味しい豆とあすと長町のみなさまの見事なすりこぎさきとで、まさに奇跡とも言つべき楽しくまた美味しい時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました！

今月は「お茶づけ」をテーマに進めてまいります。たいと思っております。

また、来月くらいから昨年に引き続き、「みやぎお雑煮博覧会」と題し、宮城のお雑煮にスポットをあてたワークショップを行いたいと考えています。引き続き三浦さんにご協力いただき、美味しく安全な食材をご用意いたしますので、どうぞみなさまのご指導よろしくお願いいたします！

主催・発行：一般財団法人アート・インクルージョン、特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし、一般社団法人MMIX Lab

共催：あすと長町仮設自治会、宮城教育大学村上タカシ研究室

お問合せ：門脇篤 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

あすと長町 仮設住宅

2013年 10月号

今度のおしるこカフェは…

10月31日(木)

午後7時から3時

持ち込み大歓迎！お雑煮も！

いよいよお雑煮WSがスタート！

あすと長町のみなさまから、生活に根付いたその豊かな食の営みについてご指導いただき「おしるこカフェ」の博覧会。前回・前々回と開催した「ずんだワークショップ」については、昨年非常に勉強になったお雑煮ワークショップを今年も開催します！

今月は手始めに千葉から通って来るコミュニティアート・ふなばし下山理事長の手による「関東風雑煮」！貝沢山の宮城のお雑煮からするとあまりにもシンプル過ぎて物足りないうえに、この声もあがりそうです。そこは下山さんのことですからみなさんをご満足させる「仕掛け」を考えていることとします。

お雑煮をタシに、またよもやまばなしに花を咲かせたいと思いますので、よろしくお願いたします！

主催・発行：特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし、一般財団法人アート・インクルージョン、一般社団法人MMIX Lab

共催：あすと長町仮設自治会、宮城教育大学村上タカシ研究室

お問合せ：門脇篤 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

あすと長町 仮設住宅

2013年 7月号

今度のおしるこカフェは…

7月28日(日)

夏休み特別編!!

ずんだすりこぎ隊大募集！

あすと長町のみなさまから、生活に根付いたその豊かな宮城の食文化について毎回ご指導いただいておりますが、ついに春先から進めて来たテーマである「ずんだ」をつくって食べてみたいと思います。

長町の「びすた〜りフードマーケット」のスタッフで、名取で代々農家を営む若き跡取り三浦さんがこの日のために特別に育ててくれた豆を使い、ずんだにまつわる思い出をお聞きしながらみなさんといっしょにつくりたいと思います。すり鉢とすりこぎを用意いたしますので、ぜひお集りください。

なお、お聞きしたずんだのお話は、以前お聞きしたお雑煮の話と同様、ラップにして後日発表いたします！

ちなみにお正月につくったお雑煮ラップを含むCDが8/11ついに完成します！

プレゼントいたしますのでお楽しみに！

仙台四郎とその弟子 からの手紙 その四

バルコキノシタ & ちいちゃん

体が重たい仙台四郎さんは、いつか空を飛び回りたいと思っています

かもめは自由でいいなあ、好きな時に魚を食べて空を飛んで、と、夢を見ています。

あすと長町の仙台四郎ことバルコキノシタさんは目下、瀬戸内海の島「男木島」で、「昭和40年会男木学校」の校長として奮闘中です。アーティストたちと島でさまざまなアートプロジェクトを展開しています。

あすと長町限定アイドルといったらこの人、もりかおりさん（今年3月に改名）ですが、彼女もふだんから使っているという自然派石けんと入浴剤が届くとの未確認情報をキャッチしました！

残念ながらアイドルご本人は今回登場しない予定ですが、ステキなプレゼントで夏の厳しい暑さで疲れたお肌をいたわって下さい。

http://art-in.org/ http://www.communityart.net

あすと長町 仮設住宅

2013年 7月号

今度のおしるこカフェは…

7月28日(日)

夏休み特別編!!

ずんだすりこぎ隊大募集！

お餅は長町の郡山餅店さんのつきたてのお餅♪

8月は8/23開催予定です！

無料です！

あすと長町のみなさまから、生活に根付いたその豊かな宮城の食文化について毎回ご指導いただいておりますが、ついに春先から進めて来たテーマである「ずんだ」をつくって食べてみたいと思います。

長町の「びすた〜りフードマーケット」のスタッフで、名取で代々農家を営む若き跡取り三浦さんがこの日のために特別に育ててくれた豆を使い、ずんだにまつわる思い出をお聞きしながらみなさんといっしょにつくりたいと思います。すり鉢とすりこぎを用意いたしますので、ぜひお集りください。

なお、お聞きしたずんだのお話は、以前お聞きしたお雑煮の話と同様、ラップにして後日発表いたします！

ちなみにお正月につくったお雑煮ラップを含むCDが8/11ついに完成します！

プレゼントいたしますのでお楽しみに！

http://art-in.org/ http://www.communityart.net

あすと長町 仮設住宅

2013年 8月号

今度のおしるこカフェは…

8月23日(金)

午後7時から3時

ずんだすりこぎ隊大募集！

おしるこはコミュニティアート・ふなばし下山理事長が三日三晩煮込んで千葉から持ってきます。

お餅は長町の郡山餅店さんのつきたてのお餅♪

無料です！

あすと長町のみなさまから、生活に根付いたその豊かな食の営みについてご指導いただき「おしるこカフェ」の博覧会。前回7月は長町のひすたーりフードマーケット「スタップ」で名取下余田で代々農家を営む若き跡取り三浦さんが大切に育てた豆を使ってずんだづくりでしたが、まさに奇跡と呼ぶような美味しさでした。みなさまの見事なすりこぎさきとずんだに対する熱意には、ただただ感動するばかりです。ということで、今回も前回同様三浦さんに秘伝の豆をご用意いただき「ずんだワークショップ第二弾」を開催することといたします！

前回、あまりの白熱ぶりに数十分でなくなってしまうずんだ餅ですが、今回はもう少し多めに用意いたします。前回残念だった「長町になかった方はぜひお早めにお越しください」。

なお、秋口からは昨年に引き続き「みやぎお雑煮博覧会」と題し、宮城のお雑煮にスポットをあてたワークショップを行う予定です。お楽しみに！

主催・発行：一般財団法人アート・インクルージョン、特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし、一般社団法人MMIX Lab

共催：あすと長町仮設自治会、宮城教育大学村上タカシ研究室

お問合せ：門脇篤 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

あすと長町 仮設住宅

2013年 7月号

今度のおしるこカフェは…

7月28日(日)

夏休み特別編!!

ずんだすりこぎ隊大募集！

あすと長町のみなさまから、生活に根付いたその豊かな宮城の食文化について毎回ご指導いただいておりますが、ついに春先から進めて来たテーマである「ずんだ」をつくって食べてみたいと思います。

長町の「びすた〜りフードマーケット」のスタッフで、名取で代々農家を営む若き跡取り三浦さんがこの日のために特別に育ててくれた豆を使い、ずんだにまつわる思い出をお聞きしながらみなさんといっしょにつくりたいと思います。すり鉢とすりこぎを用意いたしますので、ぜひお集りください。

なお、お聞きしたずんだのお話は、以前お聞きしたお雑煮の話と同様、ラップにして後日発表いたします！

ちなみにお正月につくったお雑煮ラップを含むCDが8/11ついに完成します！

プレゼントいたしますのでお楽しみに！

http://art-in.org/ http://www.communityart.net

あすと長町 仮設住宅

2013年 8月号

今度のおしるこカフェは…

8月23日(金)

午後7時から3時

ずんだすりこぎ隊大募集！

おしるこはコミュニティアート・ふなばし下山理事長が三日三晩煮込んで千葉から持ってきます。

お餅は長町の郡山餅店さんのつきたてのお餅♪

無料です！

あすと長町のみなさまから、生活に根付いたその豊かな食の営みについてご指導いただき「おしるこカフェ」の博覧会。前回7月は長町のひすたーりフードマーケット「スタップ」で名取下余田で代々農家を営む若き跡取り三浦さんが大切に育てた豆を使ってずんだづくりでしたが、まさに奇跡と呼ぶような美味しさでした。みなさまの見事なすりこぎさきとずんだに対する熱意には、ただただ感動するばかりです。ということで、今回も前回同様三浦さんに秘伝の豆をご用意いただき「ずんだワークショップ第二弾」を開催することといたします！

前回、あまりの白熱ぶりに数十分でなくなってしまうずんだ餅ですが、今回はもう少し多めに用意いたします。前回残念だった「長町になかった方はぜひお早めにお越しください」。

なお、秋口からは昨年に引き続き「みやぎお雑煮博覧会」と題し、宮城のお雑煮にスポットをあてたワークショップを行う予定です。お楽しみに！

主催・発行：一般財団法人アート・インクルージョン、特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし、一般社団法人MMIX Lab

共催：あすと長町仮設自治会、宮城教育大学村上タカシ研究室

お問合せ：門脇篤 080-4357-7035 info@kadowakiart.com

あけましておめでとう 2015



「主催発行 特定非営利活動法人「コミュニティアート」をばし、一般財団
法人「アトリエ・イン・クニシヨウ」 一般社団法人MMLX Lab
【他】あすと長町仮設自治会 宮城教育大学村上タカシ研究室
【お問い合わせ】080-4357-7035 info@kadawakart.com

おしるこカフェ三周年！ 「お雑煮ワークショップ」

あすと長町のみなさまと宮城の豊かな食文化を楽しみながら毎月行つて
いる「おしるこカフェ」の三周年記念。塩釜の復興商店街で仕入れた食材で
作った先月の「創作かき雑煮ワークショップ」はいかがだったでしょうか。
今回はお待ちかね、焼きはぜを使った仙台雑煮を作ります。ぜひご指導の
方よろしくお願いたします。

http://art-in.org/ http://communityart.cocolog-nifty.com/news/

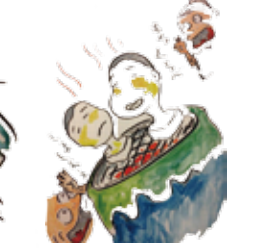
あすと長町
仮設住宅
2015年
1月号
通信
第39号



笑顔が一番
by パルコキノシタ

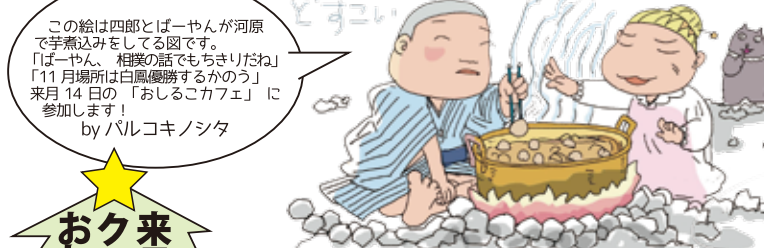
「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

「主催発行 特定非営利活動法人「コミュニティアート」をばし、一般財団
法人「アトリエ・イン・クニシヨウ」 一般社団法人MMLX Lab
【他】あすと長町仮設自治会 宮城教育大学村上タカシ研究室
【お問い合わせ】080-4357-7035 info@kadawakart.com



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

「おしるこカフェ」の
つくりか「つくる」です
あすと長町のみなさまと宮城の豊かな食文化を楽
しみながら毎月行っている「おしるこカフェ」です
が、そのもようを紹介する記録冊子のよなものを
つくってみたいとインターネットをはじめました。
おかげさまで先月は3人の方から貴重なお話を
うかがうことができました。
今月もおしるこカフェについての感想やご意見
仮設住宅へ来る前の暮らしについてなど、お聞か
せいただける方がいらっしゃいましたらぜひよろ
しくお願いたします。
また、東北学院大学の学生
さんと卒業論文に
「おしるこカフェ」
のことを書きたい
という方が今回
11月16日(日)
午後1時から3時
もちよりも大歓迎です！
もちは、ちいちゃん
（題字も）



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

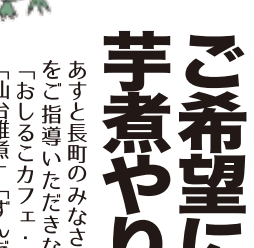
http://art-in.org/ http://communityart.cocolog-nifty.com/news/

あすと長町
仮設住宅
2014年
11月号
通信
第37号



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

「主催発行 特定非営利活動法人「コミュニティアート」をばし、一般財団
法人「アトリエ・イン・クニシヨウ」 一般社団法人MMLX Lab
【他】あすと長町仮設自治会 宮城教育大学村上タカシ研究室
【お問い合わせ】080-4357-7035 info@kadawakart.com



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

ご希望にこたえ 芋煮やります！

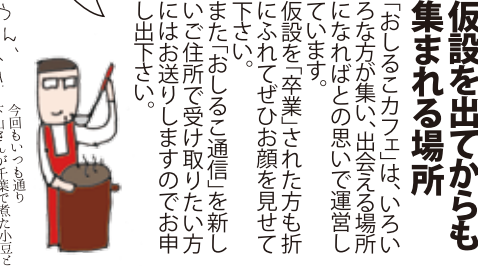
あすと長町のみなさまに宮城の豊かな食文化
をご指導いただきながら集いの場をつくる
「おしるこカフェ・食の博覧会」。これまで
「仙台雑煮」「すんだ」と取り組んでまいりま
したが、いよいよ秋の食の本丸とも言える
「芋煮ワークショップ」に挑戦したいと思いま
す。たくさんの素人ぞろいでのみなさまの
指導が不可欠です。ぜひ助っ人の方、よろし
くお願いたします！



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

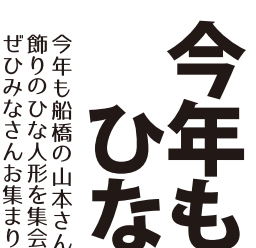
http://art-in.org/ http://communityart.cocolog-nifty.com/news/

あすと長町
仮設住宅
2015年
2月号
通信
第40号



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

「主催発行 特定非営利活動法人「コミュニティアート」をばし、一般財団
法人「アトリエ・イン・クニシヨウ」 一般社団法人MMLX Lab
【他】あすと長町仮設自治会 宮城教育大学村上タカシ研究室
【お問い合わせ】080-4357-7035 info@kadawakart.com



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

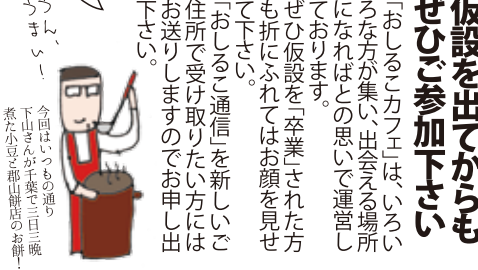
クリスマスWS
開催します！
今年も12月は村上タカシ氏フロデュース
によるクリスマススムード満点のおしるこ
カフェ！仮設の壁画完成を記念して、絵
を描いたバルコさんや沼田さん、繁田さ
んも登場、ワークショップを行います！
◎お絵描きコーナー
仮設住宅の壁に絵を描く「仮設住宅ラッピン
グ計画」もいよいよ大詰め。最後の壁をみな
さんと制作したいと思えます。カットイン
グシートに好きな絵を描いていただき、それ
を壁にはって完成させます！
◎似顔絵コーナー
あすと長町の仙台四郎ことバルコキノシタ
氏があなたの似顔絵を描いてくれます！
◎シークレット企画
最後まで参加したあなたには素敵な
何かがある！サンタクロース登場！
「主催発行 特定非営利活動法人「コミュニティアート」をばし、一般財団
法人「アトリエ・イン・クニシヨウ」 一般社団法人MMLX Lab
【他】あすと長町仮設自治会 宮城教育大学村上タカシ研究室
【お問い合わせ】080-4357-7035 info@kadawakart.com



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

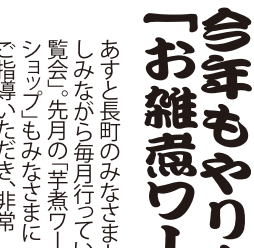
http://art-in.org/ http://communityart.cocolog-nifty.com/news/

あすと長町
仮設住宅
2014年
12月号
通信
第38号



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

「主催発行 特定非営利活動法人「コミュニティアート」をばし、一般財団
法人「アトリエ・イン・クニシヨウ」 一般社団法人MMLX Lab
【他】あすと長町仮設自治会 宮城教育大学村上タカシ研究室
【お問い合わせ】080-4357-7035 info@kadawakart.com



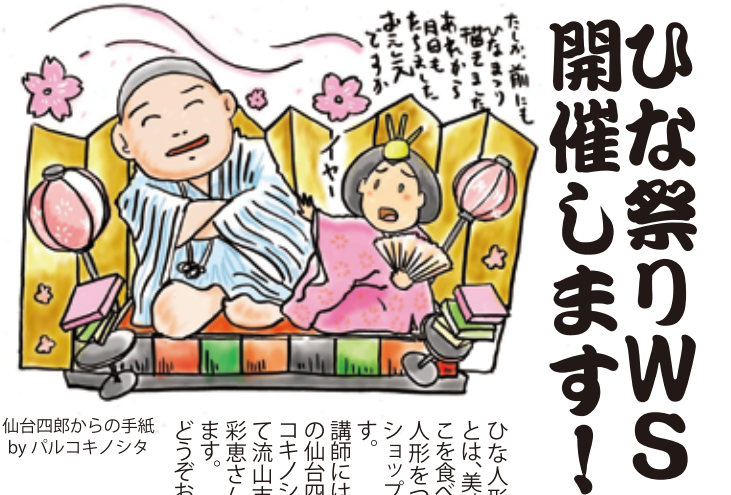
「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

今年もやります！ 「お雑煮ワークショップ」

あすと長町のみなさまと宮城の豊かな食文化を楽
しみながら毎月行っている「おしるこカフェ」の博
覧会。先月の芋煮ワークショップもみなさまに
ご指導いただき、非常
に盛り込み会となり
ました。
そしていよいよこの
季節がやってまいり
ました！そう、
3回目となる仙台
雑煮ワークショップ
です！
今回は来月に向けた
「練習」ということで
鶏肉（お雑煮と
させていただき、来
年あらためては出汁
でいただきます。
ぜひまた雑煮つくりの指導やお雑煮にまつわる
思い出話などお聞かせ願えればと思っております。



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

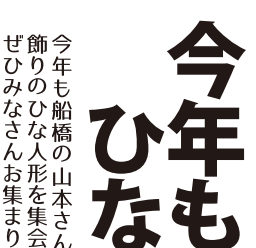
「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

「主催発行 特定非営利活動法人「コミュニティアート」をばし、一般財団
法人「アトリエ・イン・クニシヨウ」 一般社団法人MMLX Lab
【他】あすと長町仮設自治会 宮城教育大学村上タカシ研究室
【お問い合わせ】080-4357-7035 info@kadawakart.com



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

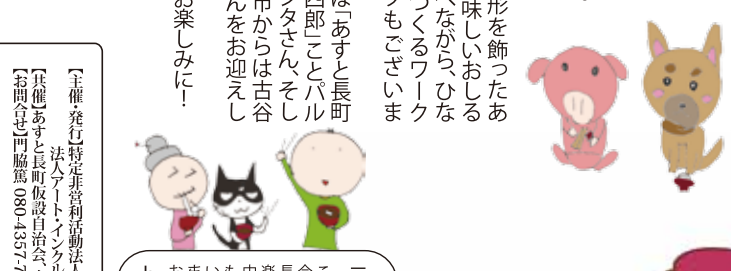
今年も楽しい ひなまつり

今年も船橋の山本さん一家からいただいた七段
飾りのひな人形を集会所に飾りたいと思います。
ぜひみなさんお集まりください！



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。



「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

「おしるこカフェ」は、いろいろ
なる方が集い、出会う場所
になれば、との思いで運営し
ています。
仮設を「卒業」された方も折
にふれてぜひお顔を見せて
下さい。
また「おしるこ通信」を新し
いご住所で受け取りたい方
にはお送りしますのでお申
し下さい。

